

奄美地域の5月どり早熟カボチャにおける自然受粉が可能な播種期

奄美地域の早熟カボチャにおいて1月下旬以降に播種することで受粉作業の省力化が可能

背景・目的

- ・奄美地域の早熟カボチャは、県内リレー出荷のスタートを担う重要品目で、近年、面積拡大
- ・受粉作業は早朝から人手で行われており、多くの労力を要することが課題
- ・受粉作業の省力化を目的に、ミツバチによる受粉(以下、自然受粉)が可能な播種期を解明

成果の内容

- ・雄花の花粉は最低気温の上昇に伴い増加(データ略)
- ・3月下旬以降、花粉発生、訪花ミツバチ数は増加(図1)
- ・1月上旬及び中旬播種の受粉開始日は3月上旬から中旬、この時期の花粉、ミツバチ数は少なく、自然受粉の種子数、A品率は減少(図2)
- ・1月下旬播種の受粉開始日は3月下旬、この時期の花粉発生は良好、ミツバチ数も増加し、自然受粉でも人工授粉と同等のA品率(図2)

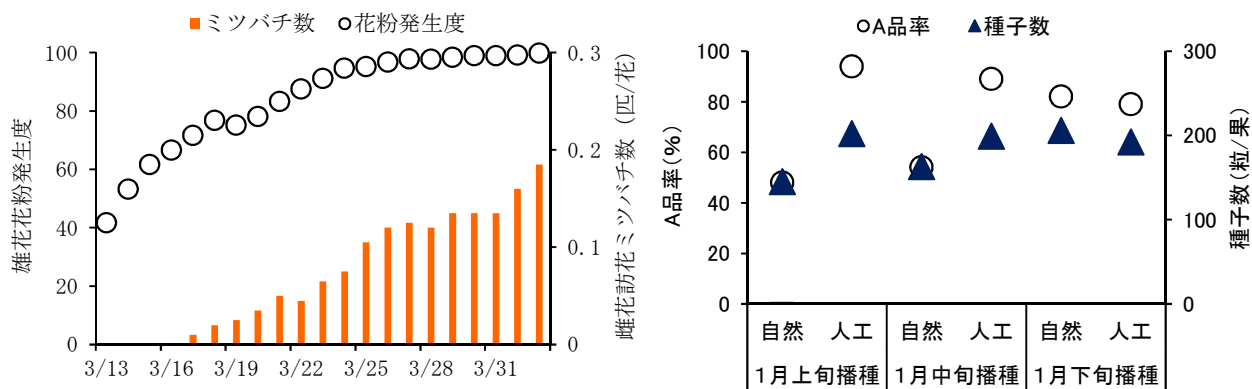


図1 雄花開花日と花粉発生度, 訪花ミツバチ数

注1) 花粉発生度 = $(\sum(\text{指数別花数}) \times \text{発生指数} \times 100) \div (\text{総花数} \times 4)$

注2) 花粉発生指数: 0無, 1微, 2少, 3中, 4多

図2 播種時期, 受粉方法と種子数, A品率

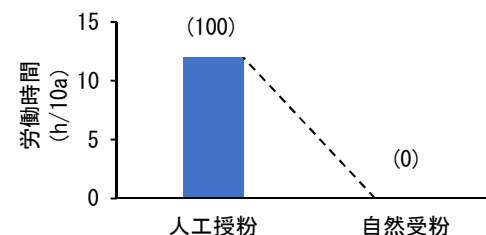
受粉開始日 3/10 3/9 3/19 3/18 3/26 3/26

平均収穫日 5/5 4/29 5/10 5/6 5/15 5/15

(共通) 品種:「えびす」, 約10aの圃場にセイヨウミツバチ(約2,000匹/箱)を1箱設置

期待される効果

○カボチャ受粉作業の省力化



注) 人工授粉の労働時間は県農業経営管理指導指標より

○作型分散による規模拡大

| 栽培方法 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | |
|-------------|----|-------|-------|-------|-------|----|
| 慣行栽培 (人工授粉) | ○ | ----- | △△ | ----- | □□ | |
| 省力栽培 (自然受粉) | | ○ | ----- | △△ | ----- | □□ |

○: 播種, △: 受粉, □: 収穫

○普及対象・範囲

奄美地域のカボチャ生産者

鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場
園芸土壌研究室